

平成 22 年 10 月 28 日
沖縄電力株式会社

平成 22 年度 第 2 四半期決算について

1. 販売の状況

当第 2 四半期(累計)における当社の販売電力量は、電灯が前年同期に比べ 0.8%増の 15 億 50 百万 kWh、電力が 0.2%減の 24 億 57 百万 kWh となり、合計では前年同期に比べ 0.2%増の 40 億 7 百万 kWh となりました。

電灯においては、前年に比べ夏場の気温が低めに推移したものの、お客さま数の増加があったことによる需要増により、前年同期を上回りました。一方、電力では、大口電力において前年度に高稼働となった海水淡水化施設の反動減があったことなどにより、前年同期を下回りました。

2. 収支の状況

当第 2 四半期(累計)の売上高は、前年同期に比べ 35 億 20 百万円減の 828 億 45 百万円、経常利益は 42 億 5 百万円減の 83 億 57 百万円、四半期純利益は 18 億 38 百万円減の 63 億 56 百万円となりました。

収入面については、電気事業において燃料費調整制度の影響により電灯電力料が減少したことや、連結子会社の異動の影響、民間工事や公共工事の減少などにより、売上高は前年同期に比べ 35 億 20 百万円減の 828 億 45 百万円となり、経常収益は 31 億 38 百万円減の 834 億 94 百万円となりました。

一方、支出面では、連結子会社の異動の影響による減少はあったものの、電気事業において燃料費や他社購入電力料の増加に加え、環境関連費用が増加したことなどにより、経常費用は前年同期に比べ 10 億 66 百万円増の 751 億 36 百万円となりました。

なお、当事業年度の間配当金については、1 株あたり 30 円といたします。

3. 業績予想

平成 22 年度通期の業績予想につきましては、売上高は 1,583 億円、営業利益は 117 億円、経常利益は 90 億円、および当期純利益は 67 億円を見込んでおります。

なお、売上高については、電気事業において燃料費調整制度の影響や販売電力量の減による電灯電力料の減少が見込まれることや、連結子会社において公共工事の受注減などが見込まれることから、前回発表した予想より 15 億円下方修正しております。

また、利益については、上記の売上高減に伴う燃料費や他社購入電力料の減少が見込まれるものの、電気事業において環境関連費用の増加が見込まれることから、前回発表より営業利益を 16 億円、経常利益を 15 億円下方修正しております。当期純利益については、計画どおりを見込んでおります。

別紙：決算の概要

以上

(別紙)

【決算の概要】

■販売電力量

(単位：百万 kWh)

		平成 22 年度 第 2 四半期累計(実績)	平成 21 年度 第 2 四半期累計(実績)	増減	増減率
	電 灯	1,550	1,539	+11	+0.8%
	電 力*	2,457	2,462	△5	△0.2%
	合 計	4,007	4,001	+6	+0.2%
参 考	民生用需要	3,341	3,318	+23	+0.7%
	産業用需要	666	683	△17	△2.6%

※電力には、特定規模需要を含む。

■連結経営成績 (3年ぶりの減収減益)

(単位：百万円)

	平成 22 年度 第 2 四半期累計(実績)	平成 21 年度 第 2 四半期累計(実績)	増減	増減率
売 上 高	82,845	86,366	△3,520	△4.1%
営 業 利 益	9,725	14,368	△4,643	△32.3%
経 常 利 益	8,357	12,562	△4,205	△33.5%
四半期純利益	6,356	8,195	△1,838	△22.4%

○連結業績予想

業績予想については、平成 22 年 7 月 30 日に公表した予想数値から修正しております。

■連結業績見通し比較 (8年ぶりの減収減益)

(単位：百万円)

	今回発表予想 数値	前回発表予想 数値(7月公表)	増減 (対7月公表)	平成 21 年度 実績
売 上 高	158,300	159,800	△1,500	162,501
営 業 利 益	11,700	13,300	△1,600	17,397
経 常 利 益	9,000	10,500	△1,500	13,659
当期純利益	6,700	6,700	—	8,950